

本資料は、報道関係者を対象としています。医療現場や一般の方々を対象とした医学的な情報提供や、プロモーションが目的のものではありません。なお、これらの資料は配信時当初の情報が掲載されており、最新の情報が反映されているとは限らないことをご了承ください。

報道関係各位

2026 年 7 月 30 日

8 月 21 日(金)に開催決定！参加学生の募集開始

医療の未来を考える 高校生・大学生サマープログラム — 外国人患者の言葉と文化の課題。患者を支える仕事を学ぼう —

サノフィ株式会社(本社:東京都新宿区、以下「サノフィ」)は、サステナビリティ活動(CSR)の一環として、医療や薬などヘルスケア業界に関心を持つ高校生・大学生を対象に、夏休みの特別授業を開催します。今年は、言語マイノリティの方が抱える医療におけるコミュニケーション上の課題に着目した授業を実施します。

当日は医療×「やさしい日本語」研究会の武田 裕子氏、全国医療通訳者協会 NAMI の森田 直美氏をお招きし、サノフィの外国籍社員、多言語患者向け資材制作を担当する社員とともにパネルディスカッションを展開。その後、ワークショップを通じて、医療現場で海外出身の方が直面する困りごとや、その解決に向けた工夫について考えることを通じて、参加者が将来ヘルスケアに関わる立場として自分にできることを考える機会を提供します。

また、後半には、社員が企画・運営する製薬企業の仕事紹介プログラム「ジョブアドベンチャー」を実施します。医療における製薬企業の役割や、新薬の研究開発から承認・発売に至るまでのさまざまな業務について、現役社員が紹介します。これにより、参加者が医療を支える多様な職種や製薬企業の社会的役割への理解を深め、医療の未来について考える機会を提供します。



医療の未来を考える
高校生・大学生
サマープログラム
外国人患者の言葉と文化の課題。患者を支える仕事を学ぼう
主催 サノフィ株式会社

参加者 **30名**
無料招待!
応募多数の場合は
抽選となります

8/21 2026 金
13:30 - 15:45
サノフィ株式会社
東京オペラシティタワー

言語の壁を越えた医療コミュニケーションを学び、
誰もが安心して医療を受けられる社会を考える。
製薬企業との交流を通じて、
多様な仕事と社会課題に触れる機会。

【イベントのポイント】

- 医療現場で生じる言語の壁や、患者の文化的背景の違いを理解することの重要性を学ぶ
- 「やさしい日本語」を通じて、日本語を母語としない方にも伝わる表現を考える
- 外国籍社員や多言語資料制作担当者の実体験から、当事者視点の困りごとや工夫を知る
- パネルディスカッションやワークショップを通じて、将来ヘルスケアに関わる立場としてできることを考える

日本に暮らす外国人は年々増加しており、出入国在留管理庁によると、2025 年末時点の在留外国人数は 412 万 5,395 人と、前年末から 9.5%増加し、初めて 400 万人を超えました。*こうした状況を背景に、医療現場における日本語を母語としない方とのコミュニケーションは、ますます重要な社会課題となっています。

日本語を母語としない方にとって、医療専門用語や、日本語特有のオノマトペによる痛みの表現は理解が難しく、症状や不安を正確に伝えることが困難な場合があります。さらに、宗教や生活習慣、医療に対する考え方など、文化的背景の違いによって、患者と医療者の間で認識にずれが生じることもあります。その結果、円滑なコミュニケーションや適切な医療提供に支障をきたす可能性があります。

本プログラムでは、日本人が普段気づきにくいこうした課題に目を向け、講義やワークショップを通じて、参加者が医療現場における言語・文化面でのコミュニケーションの課題への理解を深め、将来ヘルスケアに関わる立場として何ができるかを考える機会を提供します。

* 出典: 出入国在留管理庁「令和 7 年末現在における在留外国人数について」

【開催概要】

- 名 称 : 医療の未来を考える 高校生・大学生サマープログラム— 外国人患者の言葉と文化の課題。患者を支える仕事を学ぼう —
- 日 時 : 2026 年 8 月 21 日(金) 13:30~15:45
- 参加者数 : 30 名(無料にてご招待)
- 場 所 : サノフィ株式会社 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー47 階
- 応募 URL : <https://forms.cloud.microsoft/e/05ThK76LTd>

【参加申し込み方法】

- 当選内容 : サノフィが主催する高校・大学生向け夏休みワークショップへの無料ご招待 / 30 名様
- 応募資格 : 高校生・大学(学部)に在籍する学生
- 応募方法 : 右記応募フォームよりお申込み <https://forms.cloud.microsoft/e/05ThK76LTd>
- 応募期間 : 2026 年 7 月 30 日(木) 10:00 ~ 8 月 9 日(日) 23:59 まで
- 当選連絡 : 応募フォーム入力後、8 月 11 日(火)頃までを目途にメールにてご連絡
* 応募が参加人数を上回る場合は抽選にて決定させていただき、結果は追って担当事務局からメールでご連絡いたします。
- 問合せ先 : サノフィ株式会社 サマースクール事務局 WeVolunteerJapan@sanofi.com

【開催プログラム】

実施内容	担当者
オープニング	サノフィ株式会社
【AMC ご説明】 サノフィのAMCの取り組みについて	サノフィ株式会社
【パネルディスカッション】 医療現場で起きているコミュニケーションに おける課題と、そのための工夫	<u>登壇パネリスト</u> サノフィ株式会社 外国籍社員 サノフィ株式会社 多言語資料制作担当者 医療×「やさしい日本語」研究会 武田 裕子氏 全国医療通訳者協会 NAMI 森田 直美氏 <u>ファシリテーター</u> サノフィ株式会社
【ワークショップ】 言語マイノリティの方々が、医療現場で直面する 言語の壁について理解を深める	医療×「やさしい日本語」研究会 武田 裕子氏 イ・ティンザ・キン氏
【ジョブアドベンチャー】 現役社員が研究開発から患者さんへの情報提供ま での幅広い業務を紹介し、医療を支える製薬企業の 役割について理解を深める	サノフィ株式会社
クロージング	サノフィ株式会社

AMC について

「A Million Conversations」は、サノフィが実施している世界的な取り組みで、ヘルスケアシステムをよりインクルーシブなものへと変革すること を目的としています。特に、歴史的に支援が十分に受けられなかった人々 ― 女性、障がい者、LGBTQ+、少数民族の人々など ― を対象としています。こうした人々は、過去の医療に関する否定的な経験により、医療へ の信頼度が他の人々に比べて低い傾向があります。[（ヘルスケアにおけるトラスト・ギャップに関する報告書）](#)私たちは、誰もが公平にヘルスケアにアクセスし、必要な医療を受けられる世界を構築することを決意していま す。具体的な取り組み内容は下記の通りです ①マイノリティの人々との対話型イベントの実施 ②対話をもとにした今後の改善策の検討・提言 ③多様な属性の人々がヘルスケア産業に参画することを促す「サノフィ次世代奨学金」の実施 取り組みの詳細については、[A Million Conversations – Sanofi in Japan](#) をご参照ください。

サノフィジャパン・グループにおけるサステナビリティ活動について

長年にわたり社会への取り組み（CSR）を行ってきたサノフィは、現在、「健康」と「環境」の向上を重点に据え、ビジネスと一体化させたサステナビリティ戦略に取り組んでいます。

2024 年には、中高生向けの夏休み特別授業と患児へのサポートのためのレクチャープログラムについて、東京ボランティア・市民活動センター主催の[第 10 回企業ボランティア・アワードで「大賞」を受賞](#)しました。

社会課題の解決に向けて、持続可能なインパクトをもたらすことを目指し、社員一人ひとりが自主性を持って活動しています。また、サステナビリティ活動は、社員が新たな知見や経験を得る機会となり、各人の成長や豊かな企業文化の醸成につながると考えています。

サノフィについて

サノフィは、研究開発型の AI を活用したバイオ医薬品企業であり、人々の暮らしをより良くし、力強い成長をもたらすことに尽力しています。免疫科学領域の深い知見を活かし、世界中の何百万人もの人々の治療と予防を行う医薬品やワクチンを提供し、さらなる貢献のために革新的なパイプラインの構築にも注力しています。「人々の暮らしをより良くするため、科学のもたらす奇跡を追求する」という使命のもと、医療・環境・社会が抱える課題に真摯に向き合い、社員と国や地域社会にとって前向きな変化を生み出すことを目指しています。

日本法人であるサノフィ株式会社の詳細は、<http://www.sanofi.co.jp> をご参照ください。

報道関係者のお問い合わせ先

サノフィ株式会社 CSR 広報事務局(株式会社プラップジャパン内) 担当: 竹内、手島、玉川、富澤

e-mail: sanofi-csr@prap.co.jp